

令和5年度 せつこっこクラブ1月

## 「おばけのマールの凧づくり」

### 開催結果報告

日 時：令和6年1月21日(日) 14:00~15:30

参加人数：小学生18名+保護者19名

参加費：500円(材料費)

職員：成河、丹野

「せつこっこクラブ」は、子どもたちに三岸節子作品や芸術に親しんでもらうために、毎月1回を目安に開催しているワークショップです。

今回は、澤木寛先生(日本凧の会尾張一宮支部)を講師にお招きして、絵本『おばけのマール』で絵を担当する、なかいれい先生描き下ろしイラストのオリジナル和凧を作りました。

『おばけのマール』シリーズは、三岸節子の夫・好太郎の故郷である札幌を舞台にお話が繰り広げられる札幌の“ご当地絵本”です。シリーズ第4作目『おばけのマーるとちいさなびじゅつかん』(2008年)の舞台が、当館のパートナー館である北海道立三岸好太郎美術館だったことをきっかけに、2021年夏に当館で本州初の「さっぽろからやってきた!おばけのマー

ール絵本原画展」を開催しました。その際、一宮が舞台の絵本『おばけのマーるとモーニングのあとで』を発行し、札幌から遠く離れた一宮でも、『おばけのマール』はみんなの人気者になっています。

なかい先生には、大好物のブロッコリー柄ちゃんこを着たマールと、2024年の干支である辰に乗ったマールという2種類のデザインを、このワークショップのために描き下ろしていただきました!

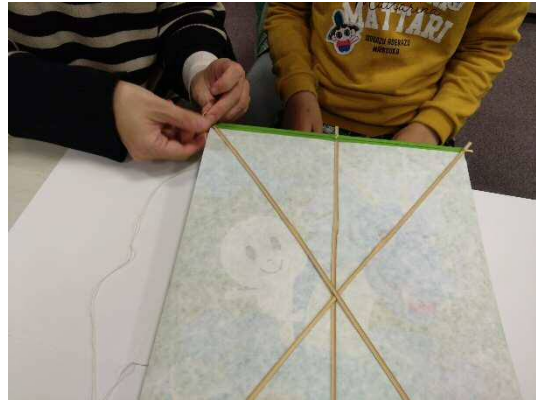


ワークショップ会場には、講師の澤木先生に持ってきていただいた色々な形や大きさの凧がたくさん並びました。蝶のようにくるくる回りながら飛ぶ小さな凧もあり、子どもたちもびっくり!

まず始めに、竹割りの実演をしていただき、和凧づくりに欠かせない竹の性質を学びました。



マールのイラストがプリントされた和紙に、あらかじめ細く割った竹をボンドで張りつけます。節がある方を上の方に持ってきて、竹の向きも上下正しく張りつけることによって、完成した時に見栄えがより綺麗になり、凧も上げやすくなるんだそうです。竹を交差させる場所にも注意しながら、丁寧に張りつけていきます。



次に、穴をあけて凧糸を通し、動かないように結んで固定します。凧の上辺にも凧糸を結びつけ、長さを変えると凧が少し曲がります。風の強さによって、このカーブを緩めたりきつくしたりして調節するのが、凧を上手く上げるコツなんだそうです！



細長いしっぽを付けて、それぞれ素敵なオリジナル和凧が完成しました！最後は、自分が作ったオリジナル和凧を持ってみんなで記念撮影をしました。澤木先生から、参加してくれた子どもたちに、牛乳パックでできた特製竹トンボをプレゼントしていただきました。電線や木のない広い場所で、ぜひマールの凧を空へ飛ばしてみてくださいね。

これからもせつこっこクラブでは、子どもたちが楽しんでアートにふれることができる機会を提供していきたいと思ひます。

